



創立 1984.7.10 / 認証 1984.8.6  
国際ロータリー第2660地区  
**大阪鶴見ロータリークラブ会報**

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閻園内  
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011  
例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：大閻園  
会長：菊井 康夫／幹事：山崎 修一／SAA：中桐 康博  
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp  
ホームページ：<http://rc-osaka-tsurumi.jp/>



**本日の例会**

〈第1359回〉 2012年12月4日(火) 本年度第21回

**卓話**

高島凱夫ガバナー公式訪問

■ロータリーソング ■ランチタイムミュージック  
君が代・四つのテスト

**次回の例会**

12月11日(火)

**次回卓話**

裁判員裁判

担当：水間会員

**前回の報告**

**会長インフォメーション**  
<President Information>

会長：菊井康夫

**対人援助学と東日本・家族応援プロジェクト**

立命館大学大学院応用人間科学研究科は、「諸科学の連携と融合」を合言葉に、「対人援助学」という新しい学問領域の創造に取り組んで10年になります。

「対人援助学」とは、これまでの学問領域を越えて、広く「人を助ける」という実践行為について、その作業を当事者の決定を軸に過不足なく行うための方法を考える新しい学問です。

その精神として①人間をトータルな存在としてとらえる。科学技術が発達した結果対人援助についても専門分化されがちですが、被援助者を家族やコミュニティの中で生活を営み続ける存在として人間丸ごとを捉える。②連携と融合。困りごとを抱える被援助者を援助するには、この人を中心に置いて周りを取り巻く家族・友人・コミュニティ関係者・支援者達が連携しながら支援体制を整え、環境を整備する。そのためには、あらゆる専門家達が従来の専門領域の壁を越えて協働

し、融合していく必要がある。③1対1の直接援助に始まるが、それを越えて、社会的弱者の声を代弁して社会に向け発信し、社会制度やシステム構築に反映させていく責任がある、の3つが挙げています。

身近ではない「対人援助学」を少しでも分かっていただるために、「ラースとその彼女」という映画を例に挙げてお話しします。

ラースは親切で礼儀正しい青年だが、心を閉ざして生きてきた。妄想の世界に入り込み、ダッチワイフを、ビアンカというブラジルの孤児院で育った修道女で、この国に伝道に来たけれど盗難被害に遭い、足が悪くて車椅子が必要な、自分の彼女だと妄想している。ラースは彼女を援助するために他者の援助を求めるところから物語が始まる。驚いた兄夫婦は、心理学者でもある医者に相談するが、最終的には妄想を抱いているラースの世界を受入れるしかないという助言を受け入れ、街の人々の理解を求めて行動し始める。

普通なら専門分化した薬物や精神医療で対処するところを、人間を丸ごと捉える「対人援助学」の視点から見直すと理解し易い物語です。  
(2ページへ続く)

**家族月間**

大阪鶴見ロータリーカラーテーマ「飛躍」その礎を」

兄夫婦も医者も教会や街の人々も、戸惑い、迷いながらもラースの世界を尊重し、寄り添う中で、ラースの物語が変化していく。人形であるビアンカがボランティアを行うことで病院や街の人々が助けられ、それによってラースに葛藤が生じ、他者との間にそびえていた壁が破られて行き、ラースは対人関係の問題や妄想から解放され、その頃には彼にかかわった人々や街のあちこちで理想的な変容が起こる、というちょっと不思議な、しかし心温まる物語です。

ここで話は変わりますが、昨年の3月11日に起こった東日本大震災は1,000年に一度の災害といわれ、福島原発の放射能汚染の問題もあり、今後の東日本地域の再生や復興に何年かかるか見通しがつきません。が、復興に向けての力強い歩みも始まっており、今後の100年先、1000年先を見通した新しい時代にふさわしい復興計画が進みだすことだと思います。

この復興の歩みに合わせて、ご紹介した立命館大学大学院応用人間科学研究科では、「東日本・復興支援プロジェクト—対人援助学による家族・コミュニティ支援プロジェクト」という研究科プロジェクトを立ち上げ、10年かけて対人援助学の分野での支援をしていくそうです。即ちこれまでに培った専門知識、技術、ネットワークを稼働させ、その地域ごとの現況にあった対人援助プログラムを提供し、現地の人々とネットワークを構築し、協働していきたい。ボランティア活動を通しての対人援助、心理臨床活動を通しての対人援助、あるいは援助者を援助するという活動を通しての対人援助等、様々なかたちでの対人援助を実践していきたい、と意欲的です。対人援助プログラムとしては、例えば家族をテーマにした漫画パネル展示や支援者支援、子どもの遊びワークショップなどを実施しているそうで、これらの実施を通じて、家族やコミュニティに寄り添って人々が復興の物語をつくりていく声に耳を傾け、時代と社会の目撃者・証人として存在し続けると共に、活動の記録を残し、対人援助学の役割を問う取り組みだそうです。

私は、心や体のケアなどソフト面に重点を置いた支援が必要であると思っていますが、この対人援助学に基づく「東日本・復興支援プロジェクト」への支援を、我がクラブの災害支援活動の選択肢の1つとして検討してみるのもいいかもしれません。

(東日本・家族応援プロジェクト・<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gsshs/sinsaiproject.html>、村本邦子・人権のひろば86号参照)

## 幹事報告

幹事：山崎修一

- 11月27日(火) 特別事業部門のクラブフォーラムが開催されます。
- 12月 4日(火) ガバナー訪問日です。年次総会が開催されます。
- 12月11日(火) 現年度理事会、次年度理事会が開催されます。
- 12月18日(火) 夜例会です。クリスマス家族会が開催されます。
- 12月25日(火) 年末最終例会です。

なお、12月7日、8日は地区大会です。当日必ず名札が必要となりますので、よろしくお願ひいたします。

また、前回のアッセンブリー報告書をまだ鳥居副幹事に提出されていない委員長の方は、至急ご提出をお願いいたします。

### NIKONIKO箱

¥25,000.- 累計 ¥707,000.-

武市会員 結婚記念日のお花有難うございました。23日浅来で一泊、24日観月会、湖邸滋で一泊、久し振りの家族旅行でした。親睦委員会の皆様有難うございました。

佐藤会員 先日の恒例の観月会は、少々寒くてお月見には遅すぎましたが、丁度妻の誕生日にあたり、覚野さん、浮舟さん、皆様にお祝いいただき有難うございました。

浮舟会員 観月会、ご苦労さまでした。

山崎会員 浮舟会員、覚野会員観月会では楽しいひと時を有難うございました。利き酒コーナー、全問正解自祝。

津野会員 前回欠席のお詫び。又、観月会も親睦委員長にもかかわらず欠席し、ご迷惑をおかけしました。

大草会員 本日公務の為、早退させて頂くお詫びに。

### 大阪鶴見RC国際交流基金

¥16,000.- 累計 ¥238,000.-

田中会員 本日クラブフォーラムです。皆様のご協力をお願い致します。

木村会員 今年も1ヶ月余りになりました。年と共に1年が早く感じています。

浮舟会員



## 親睦委員会

委員長：津野友邦



12月18日(火)クリスマス家族会です。タージンさんの楽しいアトラクションもあります。ご家族揃ってのご参加お待ちしております。

尚、11日までに1品のご提供を宜しくお願ひ致します。  
又、お酒も宜しく。



## 国際奉仕委員会

委員長：秀島秀規



2013年6月23日から26日まで、ポルトガルのリスボンにおいてR I 国際大会が開催されます。今年度は田中作次R I 会長年度であり、30年振りの日本のR I 会長の下での国際大会です。このため日本から多数の参加者、具体的に3,000名以上の参加が要請されています。リスボンは歴史と日本との交流、風光明媚な都市であり、ワインや食事も美味しいそうです。奮ってご参加ください。



## 卓話

### 特別事業長期計画委員会中間報告

委員長：田中信明



特別事業長期計画委員会の答申案製作の中間報告をさせていただきます。ここでは、会長方針を受けて答申案のタイトルを「飛躍の礎」といたしました。

最初に会長方針の確認をさせて頂きます。35年目に向けて大きく飛躍する為の4つの柱として下記提示されました。

1. 50名規模のクラブとする。
2. 親睦を通じた楽しいクラブにする。
3. 人材と地域性を活用した地域密着型の奉仕活動をする。
4. 國際の鶴見RC-國際交流基金を活用した國際奉仕を実践する。

当委員会は当初、大枠のみの答申でよく具体案は各年度の各委員が作成すれば良いと考え、年4回位の委員会開催で良いと思っていました。しかし、会長の深い思いはより具体的な案をまとめて地区の長期計画のマニュアルになるようなものを作成し、地区に提出したいということでした。

地区に提出となれば地区から配布された資料に基づいてまとめようと思いましたが、そのマニュアルは簡単なもので到底会長の熱意に答えられるものではありませんでした。急遽委員会も10回開催する必要になり委員会

予算も大幅アップを了承して頂きました。

そこで山崎幹事にお願いしてまとめ方のフォームのたたき台を作成して頂き、また会長の思いを総論としてまとめて頂きました。

それでは資料1~4に沿って説明して頂きます。

最初に国際ロータリーの戦略の中に示されている5つの価値観について説明致します。

1. 奉仕：5大奉仕のバランスがとれた奉仕
2. 親睦：個人による奉仕も大切であるが、協力して行う奉仕の力は無限となり多くのリソース（資源）をもたらす。
3. 多様性：職業の多様性のあるクラブが繁栄する。
4. 高潔性：人間関係や職業において高い倫理観や公正さを保つこと。
5. リーダーシップ：会員の優れた資質とリーダーシップを信じて更に進展させること。

これら5つの価値観を踏まえて答申書を作成する予定です。

1. 総論について
2. まとめのスケジュールについて
3. 委員会の基本システムについて
4. 当委員会と各年度委員会との関係についての説明をさせて頂き、引き続きフォーラムでは会長方針の4つの理想像（目標）について具体的な説明をさせて頂きます。

今月の表彰とお祝い	
Commendation & Celebrate!	
*誕生日	井上、石川、田坂、林
*在籍年数	清水(23年)
*ホームクラブ10回連続賞	阿部、菊井、木村、小西、小山、中嶋、田中
*事業所創立記念日	12/16・鳥居、12/22・山本(隆) 各会員

前回の出席報告 (11月27日 1358例会)		
会員数35名	ビジター	1名
(内出席規定免除 3名)	ゲスト	1名
出席会員 32名中 24名	出席総数	29名
出席免除会員 3名中 3名	前々回 11/17 M/U 3名	
出席率 27/35 77.14%	修正出席率	82.35%

担当：水間会員



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

# ROTARY

121万の  
ボランティア会員  
世界200カ国

## ロータリーソング

### 四のテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか  
みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなのためになるかどうか

### R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,  
That spells ROTARY,  
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.  
From North to South, from East to West  
They profit most, Who serve the Best  
R-O-T-A-R-Y,  
That spells ROTARY

### 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
御國に捧げん我等の業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永遠に栄えよ 我等のロータリー

### 我らの生業

我等の生業さまざまなれど  
集いて図る心は一つ  
求むるところは平和親睦  
力むるところは向上奉仕  
お、ロータリアン 我等の集い

### 限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め  
友情花と咲かせつつ  
生きよう今日も ニコニコと  
一筋の道 ロータリー  
限りなき道 ロータリー

### それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ  
見つけた時にや おいと呼ぼうよ  
遠い時には 手を振り合おうよ  
それでこそ ローローロータリー

### 町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん  
並木さらさら葉から葉へ  
人にやさしい町の風  
ロータリー ロータリー  
廻って 守れ 風車になって  
地球がきれいな息をする

### われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」  
夢を世代に受け継いで  
今日も明日もその先も  
胸いっぱいに友情深め  
肩組んで 謳おう  
われらが ロータリー